

議 会 用 語 解 説

「決議」って
なに？

かいた議会だより第79号に掲載した「役場庁舎移転・建設地に関する決議案」の記事に分かりにくい部分がありましたので、今回は「決議」とは何かを解説します。

決議は、「政治的効果」をねらったり、「議会の意思を対外的に表明するため」に行われる議会の議決です。議会が自らの意思を決めるためのものなので、決議(案)は**議員が提案します**。そして、議会の本会議にはかります。したがって、議場では、提案した議員がその他の議員から質疑を受け、答弁をすることになります。議会の審議を経て、これが賛成多数で可決された場合、それは「海田町議会の意思」となります。

三村敏之さんに町民栄誉賞を 付与することを求める決議

平成21年12月18日に開催された臨時会において、全会一致で可決しました。

要 旨

11月3日に死去された元広島東洋カープ監督の三村敏之さんは、現役時代も引退後もすばらしい功績を残され、町民の誇りであることは誰もが認めるところである。

この功績を踏まえ、町民栄誉賞を創設し付与されるよう、町議会として強く求めるものである。

この決議を受けて、町長が町民栄誉賞を創設し、2月9日、故三村敏之さんに付与しました。

意見書を可決

3月定例会において次の二つの意見書を可決し、内閣総理大臣をはじめ、国の関係機関に提出しました。

安全・安心な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書

- ①国民の生命と財産を守るための公共事業を推進するため、中国地方整備局及び事務所・出張所の廃止を行わないこと。
- ②公共事業の予算配分を水害・土砂災害・雪害等の防災及び生活関連に伴う河川・道路等の整備、維持管理に重点配分するとともに、中国地方整備局及び事務所・出張所の組織を災害時でも敏速に対応できる体制にすること。
- ③国民の安全・安心につながる社会資本整備は、国の基本的責務であり、地方に移譲することなく国の責任において行うこと。

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

現在、核兵器を巡る世界の状況は、極めて緊迫しており、核兵器廃絶を早期に実現するためには、各国政府が核兵器廃絶に取り組む必要がある。

このような中、平和市長会議では、核兵器廃絶に向け各国政府等が遵守すべきプロセスなどを定めた「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を発表した。

また、本町議会においては「非核町宣言決議」を行っており、核兵器廃絶を願う者として「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同する。

よって、国会及び政府においては、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、2010年のNPT再検討会議において同決議書を議題として提案するとともに、その採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働きかけていただくよう、強く要請する。